

加飾フィルム向けポリプロピレン

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

マテリアル
リサイクル

モノマテリアル化

再利用設計

用途

自動車部材（内外装）／家電／住設部材

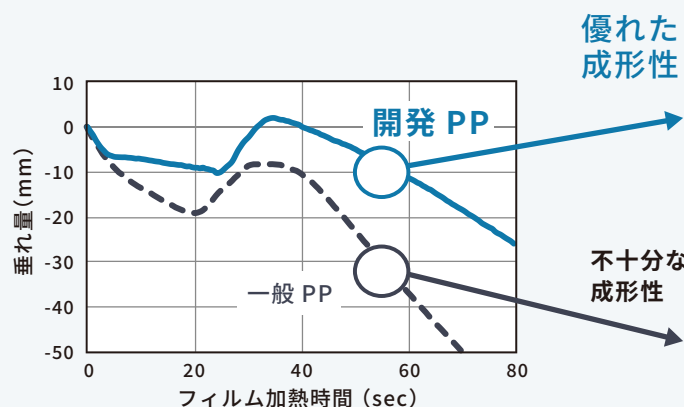
課題

- 循環型社会の実現や ELV 等の法規制対応に向け、資源循環に配慮した自動車部材の採用が求められている
- サプライチェーン全体での環境負荷(GHG 排出量、VOC 等)の低減が求められている

ソリューション

●優れた成形性：

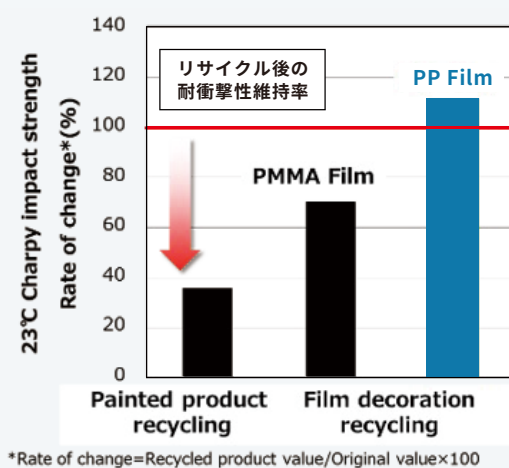
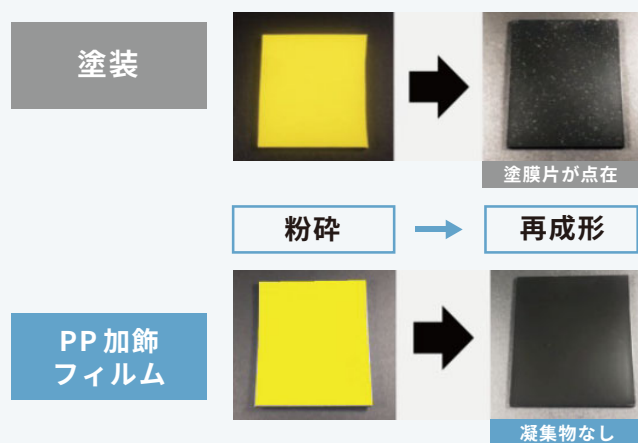
高延展 PP 加飾フィルムの優れた形状追従性により塗装レス化を実現
また、従来加飾フィルムに使用される PMMA、ABS 同等以上の形状追従性を達成



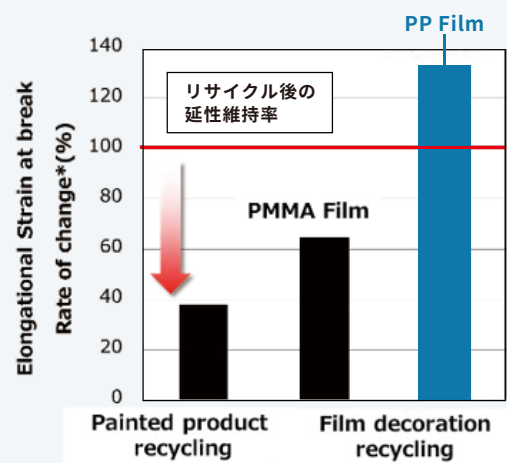
優れた成形性

不十分な成形性

- モノマテリアル化：PP 同士との熱融着により接着剤を不要化し、工程を簡略化
また、オール P P 化によりリサイクル時の物性低下を抑制



*Rate of change=Recycled product value/Original value×100



ベネフィット

- Car to Car リサイクルを見据えた循環設計を可能とし、リサイクル材活用に貢献
- 接着剤由来の VOC 発生を抑制するとともに、工程簡略化による生産効率向上と製造工程における環境負荷低減に貢献
- フィルムならではの意匠表現(印刷・エンボス等)により、デザイン自由度を拡大

お問い合わせ



日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。